

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院高度救命救急センターに 外傷性腸管・腸間膜損傷で受診されたことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

鈍的外傷による腸管・腸間膜損傷の手術適応因子と手術までの時間に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 助教 置塩裕子

3. 研究の目的

鈍的外傷による腸管または腸間膜損傷に対する手術適応因子手術までの適切な時間を検討する。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2011年2月1日から2017年7月31日までの期間中に、和歌山県立医科大学高度救命救急センターを受診され、ケガに伴う腸管または腸間膜損傷の診断で入院治療を受けられた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢・性別・受傷機転・搬送手段・紹介の有無・抗血栓薬内服の有無・シートベルト痕・バイタルサイン・超音波所見・腹部CT検査の有無とその所見・損傷部位の重症度・Injury Severity Score・予測死亡率・7日間死亡・来院から手術開始までの時間に関する情報です。

(3) 方法

手術が必要であった患者さんと必要でなかった患者さんにどのような違いがあるかを調べます。また、手術が必要であった患者さんに関して、手術を始められるまでどれくらい時間がかかったかを調べ、時間による影響を調べます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 担当医師 置塩裕子

TEL : 073-441-0603 FAX : 073-447-2360

E-mail : eccm@wakayama-med. ac. jp